

南西諸島の気候風土に合った
永年利用 暖地型 牧草 を 活用しよう。

南西諸島向き

暖地型牧草ギニアグラス

極晩生品種 「うーまく」

極多収、倒伏に強い採草用ギニアグラス品種（多年利用タイプ）

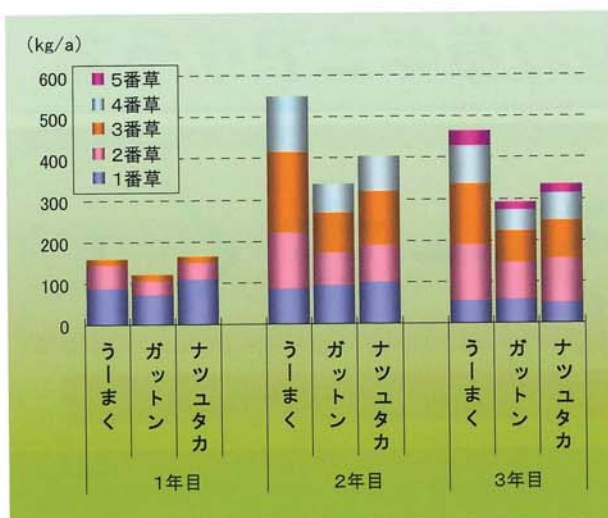


○ 栽培適地と土壤条件

南西諸島全域の永年利用を目的とした、
水はけの良い草地で利用できます。

○主な特徴

多収品種「ナツユタカ」の1.4倍程度の収量があり、持続性に優れています。また、消化性も高く、品質に優れています。さらに、再生性に優れ、倒伏にも強い品種です。



極多収品種「うーまく」(右)と多収品種「ナツユタカ」(左)

乾物収量 (2005~2007年)

乾物消化率および粗タンパク含有量

品種名	乾物消化率 (%)	粗タンパク質含有量 (DM/%)
うーまく	58.4	7.2
ガットン (普及品種)	54.8	8.2
ナツユタカ (多収品種)	56.3	6.3

*乾物消化率は利用3年目の1~5番草までの平均。

*粗タンパク質含有量は利用3年目の2番草(7月)。

栽培・利用方法

- 播種時期
4月中旬~5月初旬
- 播種量：2~3kg/10a
- 採草向き、南西諸島では多年利用できます。
- 生草およびラップサイレージに利用できます。

栽培上の留意点

- 初期生育がやや劣るため、雑草の防除と填圧を十分に行い、利用初年の1番草の刈取りは播種後60~90日を目安に行います。
- 晩秋まで出穂しないため、草高120~150cmを目安に刈り取ることで多収性と品質維持が確保できます。

【育成機関】 お問い合わせ先：

沖縄県畜産研究センター 育種改良班

〒905-0426 沖縄県国頭郡今帰仁村字諸志 2009-5

TEL: 0980-56-5142 FAX: 0980-56-4803